

2022年11月1日

学校法人 西鉄学園
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
校長 椎葉 小夜子

「自己評価及び学校関係者評価結果（令和3年度版）」 報告

学校法人西鉄学園 専門学校西鉄国際ビジネスカレッジでは、令和3年度の自己点検・自己評価を実施し、本校規程に基づき学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここに学校教育法施行規則第189条に則して「自己評価及び学校関係者評価結果（令和3年度版）」を公表いたします。

学校関係者評価委員会からのご意見を真摯に受け止め、教育力の更なる向上、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

今後とも、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■学校関係者評価委員

	氏名	所属・役職
企業・団体	江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA 支配人
	山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ 西鉄グランドホテル・ソラリア西鉄ホテル福岡 副総支配人
	水城 弘幸	西鉄旅行株式会社 総務部 部長
	松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州 取締役 総務部長
	佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ長
	江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長
	堤 晃司	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
	三浦 芳徳	公益財団法人産業雇用安定センター 福岡事務所 参与
	井上 武之	篠栗町教育委員長（高等学校校長経験者）
	松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長（卒業生）
事務局	椎葉 小夜子	理事 校長
	伊藤 潤	副校長（教務部長兼）
	後田 友房	総務部長
	久保田 博子	教務副部長 兼 エアライン科 学科長
	長野 美穂	ホテル・ブライダル科 学科長
	田中 友加利	鉄道科 学科長

自己評価及び学校関係者評価結果（令和3年度版）

2022年11月1日公開

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>(1) 教育理念・目的・育成人材像</p> <p>○理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。</p> <p>1. 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか</p> <p>2. 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教育を推進させるため、教育機材の整備を行い、研修を実施し活用に取り組んでいる。 デジタル機材やソフトの活用が、教員全体に浸透できていないことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル機材を活用し、今後のICT教育の充実を期待する。
<p>(2) 学校運営</p> <p>○情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか</p> <p>1. 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか</p> <p>2. 学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか</p> <p>3. データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか</p> <p>4. システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学生に学校のメールアドレスを付与し、学校からの連絡事項を各学生の携帯電話で確認できるシステムを組んでいる。 ホームページに学生及び職員へのお知らせページを設け、情報提供及び災害時の安否確認情報を確認出来る体制を取っている。 入学前の募集活動における入学希望者の動向や学生の在籍中の管理から卒業までを一括管理するキャンパスプランを構築した。 キャンパスプランの活用が限定的である。教職員のスキル不足に起因する対応の遅れが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 導入したシステムを活用し、学生及び保護者に対し安心して学べる環境の更なる充実を図ることを期待する。
<p>(3) 教育活動</p> <p>○理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</p> <p>1. 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。</p> <p>2. 職業教育に関する方針を定めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の編成方針については学科毎にカリキュラムポリシーを定め明確にしている。 教育方針の一つに業界で働く覚悟と強い精神を持った人材を育成すると定めている。 志望する業界に合わせて教育課程を編成しているが、業界からの求人数が激減したため 学びを生かす方向性の変更を考える必要性が出てきた 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する業界で活躍する覚悟をもった学生を育てていることは評価できる。今後も継続して人材育成に取り組んでほしい。 2年間の間に多くの事にチャレンジして経験値を高くすることを望む 現場を見る機会を多く持ち広いビジョンを描ける人材を育てることを期待する。 イレギュラー対応ができる人材を育てて欲しい。
<p>(4) 学修成果</p> <p>○就職率の向上が図られているか</p> <p>1. 就職率に関する目標設定はあるか</p> <p>2. 学生の就職活動を把握しているか</p> <p>3. 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。</p> <p>4. 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。</p> <p>5. 就職率等のデータについて適切に管理しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 就職率100%を目標数値として取り組んでいる。 就職関連授業を1年次から取り入れ1年後期では更に細分化して強化している。 担任と就職室の連携による就職支援体制の構築が成果を上げた。 オンラインによる求人検索や応募の機会が増加している。 就職関連のデータは適切に管理している。 コロナ禍により観光業界からの求人が減少した。 オンラインによる企業説明会や面接が増えるなど採用スタイルが変化している。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において就職斡旋は困難であったと推測するが、卒業時点で98.8%卒業後も個人的にフォローを行い100%に達するなど高い就職率を達成したことは評価に値する。 企業説明会や面接試験がオンラインで実施されることが一般的になってきたことに対し、対応授業の実施やオンライン環境を整備するなど適切に運営している。
<p>(5) 学生支援</p> <p>○学生相談に関する体制を整備しているか</p> <p>1. 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか</p> <p>2. 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか</p> <p>3. 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか</p> <p>4. 相談記録を適切に保存しているか</p> <p>5. 関連医療機関等との連携はあるか</p> <p>6. 卒業生からの相談について、適切に対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラス担任が定期的に学生面談を実施している。 クラス担任スクールカウンセラーが連携して学生個々の能力・資質、学業、生活状況を把握し、適切な処置を講じている。 カウンセリング記録は教務部長を責任者に置き適切に管理している。 精神的疾患を患って入学してくる学生が増えており、学校の責任範囲を如何に明確化できるかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 中途退学者の増加が気になる場所であり、更なる学生支援の強化を期待する。 個人のメンタルヘルスに配慮し、引続き退学者の低減に努めて欲しい。

<p>(6) 教育環境</p> <p>-----</p> <p>○教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか 2. 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか 3. 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか 4. 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか 5. 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか 6. 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか 7. 卒業生に施設・設備を提供しているか 8. 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか 9. 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教室及び実習室などそれぞれの学科に則した施設・教育用具を整備している。 ● 施設・設備を定期的に点検し必要に応じて補修を行っている。 ● すべての教室に投影機器及びパソコンを整備している。 ● オンラインによる授業や就職活動に対応できる貸出しパソコン等を整備している。 ● ICT 教育用機材を整備したが、使用する教員のスキルが追い付いていないことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT を活用した教育を実施するための設備等を構築し、授業及び就職支援に活用している事は評価できる。今後は設備の更なる活用することを期待する。
<p>(7) 学生の募集と受入れ</p> <p>-----</p> <p>○高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか 2. 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか 3. 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学案内書を作成している。 ● 各種イベント告知チラシ等を作成している。 ● ホームページによる学校情報の開示している。 ● 高校訪問による高校教員への情報開示している。 ● 年間 30 回程度のオープンキャンパス・業界イベントの実施している。 ● オープンキャンパスで保護者説明会を実施している。 ● 高校生向けの媒体雑誌を使った告知している。 ● 高専連携授業や進路・マナー講演の実施している。 ● 学校の教育方針や特色、業界が求める人物像、教育内容、就職実績等を正確に伝えている。 ● コロナ禍において進学説明会や高等学校等の教職員に対する入学説明会が中止となり十分な情報提供ができていないことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人留学生の雇用需要は増えており、早めに対策を進めて欲しい。 ● コロナも落ち着きを見せ始め、MICE などの誘致も活発になりつつあるので人材育成に期待している。 ● 国内の観光客は活発に動き始め、これから観光業界復活の方向に向かっているため、専門学校に期待する。
<p>(8) 財務</p> <p>-----</p> <p>○予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予算の執行計画を策定しているか。 2. 予算と決算に大きな乖離を生じていないか。 3. 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか。 4. 予算規程、経理規程を整備しているか。 5. 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算の執行計画及び執行管理は適切に行っている。 ● 状況に応じ予算の補正措置も行っている。 ● 施設・設備の老朽化の改修等にかかる費用の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去 3 年間の財務状況の推移に基づき問題はない。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>-----</p> <p>○自己評価結果を公表しているか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価結果を報告書に取りまとめているか。 2. 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページで、自己評価を含む学校関係者評価を公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正に運営しており、問題はない。
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>-----</p> <p>○学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか。 2. 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか。 3. ボランティアの活動実績を把握しているか。 4. ボランティアの活動実績を評価しているか。 5. ボランティアの活動結果を学内で共有しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動に対して単位を付与する制度を 2018 年度から開始。合計 5 回の参加で 30 時間の学外活動とみなし 1 単位を付与することとし、積極的に奨励している。 ● イベントが平日に行われる場合の授業の取り扱い。教職員の引率が難しい場合があることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナも落ち着きはじめ、イベントや国際会議など MICE の動きも活発化する兆しがあるため、学生の積極的な参加を期待する。